

音楽 第3学年 評価規準

第2学年及び第3学年の目標

- (1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。
- (2) 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高める。
- (3) 多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。

第 3 学年

|                       | 題材名（時数）◎目標  | 学習活動   | 評価規準   |
|-----------------------|---|--|--|
| 1<br>学<br>期           | <p><b>日本の歌の美しさ</b><br/> <b>歌唱</b><br/>                     「花〈心の歌〉」</p> <p>◎歌詞にこめられた思いや、音楽の味わいと音楽を形づくっている要素との関わりを理解して表現を工夫する。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞の内容を理解して、強弱を生かした表現を工夫する。</li> <li>・1番2番3番と歌詞によってリズムやメロディが変わることに気づかせる。</li> <li>・2部形式で作曲されていることに気づかせる。</li> <li>・曲の構成や曲想の変化に関心をもち合唱する。</li> <li>・詞や曲がつくられた背景を理解して曲にこめられた思いを表現する。</li> </ul> | <p>【関】歌詞が表す情景や心情、歌詞の成立の背景、曲想に関心をもち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>【工】リズムや強弱など音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想を味わって曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>【技】歌詞の内容や曲想を生かした曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。</p> |
|                       | <p><b>楽器の音色に親しみながら、オーケストラの響きを味わおう。</b></p> <p><b>鑑賞</b>「ボレロ」</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲全体を通して楽器群や情景の変化を感じ取らせ、言葉で表現させる。</li> <li>・歴史背景と関連付けをして映像などで学び作品の良さを感じ取らせる。</li> </ul>   | <p>【関】音楽の特徴とその背景となる文化・歴史や他の芸術との関連に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>【鑑】音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて理解して、解釈したり価値を考えて鑑賞している。</p>   |
| 2<br>～<br>3<br>学<br>期 | <p><b>混声合唱へのステップ</b><br/> <b>—さまざまな曲想の表現—</b><br/> <b>歌唱</b><br/>                     合唱コンクールの曲<br/>                     「あなたへ - 旅立ちに寄せるメッセージ」</p> <p>◎音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す曲想や魅力を生かして表現を工夫する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・範唱を聴いて、リズムや曲想などの特徴に関心をもち。</li> <li>・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す曲想や魅力を生かして表現を工夫する。</li> </ul>  | <p>【関】歌詞の内容や曲想に関心をもち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>【工】音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取って曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>【技】歌詞の内容を生かした曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。</p>   |

|   |   |  |
|---|---|--|
| <p><b>曲想と音楽の構造との関わりを理解してその魅力を味わおう (3)</b><br/> <b>鑑賞</b><br/> 「交響曲第5番 ハ短調」<br/> ◎曲の構成に注目しながら、曲想の変化を味わおう。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本題材の見通しをもち、曲に関心をもつ。</li> <li>・曲想と音色(オーケストラの響き)、リズム(動機)、旋律(動機、主題、ハ短調)、形式(ソナタ形式)、構成(動機や主題の反復や変化)との関わりについて理解する。</li> <li>・「交響曲第5番 ハ短調 第1楽章」の音色、リズム、旋律、形式、構成を知覚・感受しながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。</li> </ul>   | <p>[知] 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。<br/> [思] 音色、リズム、旋律、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。<br/> [態] 曲の構成と曲想の変化に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p> |
| <p><b>混声合唱へのステップ</b><br/> <b>一さまざまな曲想の表現</b><br/> <b>一</b><br/> <b>歌唱</b><br/> 合唱コンクールの曲</p> <p>◎音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す曲想や魅力を生かして表現を工夫する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・範唱を聴いて歌詞の内容や曲想などに関心をもつ。</li> <li>・パート練習を行い、自分のパートの音程や歌い方を追求する。</li> <li>・合わせて歌う。</li> <li>・音色やパートのバランスについて考えて工夫する。</li> <li>・言葉とリズムの関係、伴奏の変化、言葉と旋律の関係、フレーズを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取る。</li> <li>・歌詞が表す情景や心情、曲の表情や味わいを感じ取って曲にふさわしい音楽表現を工夫する。</li> </ul>                                    | <p>【関】 歌詞の内容や曲想に関心をもち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。<br/> 【工】 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら歌詞の内容や曲想にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。<br/> 【技】 歌詞の内容を生かした曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。</p>               |
| <p><b>混声合唱へのステップ</b><br/> <b>一さまざまな曲想の表現</b><br/> <b>一</b><br/> <b>歌唱</b><br/> 卒業式の曲</p> <p>◎音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す曲想や魅力を生かして表現を工夫する。</p>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲の作られた背景を知り、作曲者の思いを表現する。</li> <li>・範唱を聴いて歌詞の内容や曲想などに関心をもつ。</li> <li>・パート練習を行い、自分のパートの音程や歌い方を追求する。</li> <li>・合わせて歌う。</li> <li>・音色やパートのバランスについて考えて工夫する。</li> <li>・言葉とリズムの関係、伴奏の変化、言葉と旋律の関係、フレーズを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取る。</li> <li>・歌詞が表す情景や心情、曲の表情や味わいを感じ取って曲にふさわしい音楽表現を工夫する。</li> </ul> | <p>【関】 歌詞の内容や曲想に関心をもち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。<br/> 【工】 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら歌詞の内容や曲想にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。<br/> 【技】 歌詞の内容を生かした曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。</p>               |